

みたちっ子だより

校長 中路 知恵



みつけよう夢を たすけあおう友と ちからあわせて やる気いっぱい まだまだのびる

校舎に込められた思い

6月に1年生が学校探検を行いました。1年生の学習の中でも恒例の取組です。校長室も探検場所になっていますので、私は毎年、1年生に校長室を案内することを楽しみにしています。校長室にやってきた1年生の興味関心は、歴代の校長先生方の写真。それから、移転前の御館山小学校の上空写真でした。校長室には、創立50周年、そして70周年を記念した校舎写真がありますが、それを比べながら周囲の変化に気付く1年生もいました。

私も、気になりつつもじっくり見ることができていませんでしたので、改めて校長室にしまっている「創立50周年記念誌」を手にとってみました。その中に、「新校舎移転開校」というタイトルで、当時の校長先生が開校に至るまでの出来事を述べていらっしゃるページがありました。その内容を少しだけここでお伝えさせてください。

当時、各団体の代表者で組織された建設委員会と市当局との考え方は平行線で、なかなか結論に至らなかったようです。これでは、建設は何年先になるか見通しが立たず失望する人さえいらっしゃる状況もあったとのこと。昭和62年に改築の陳情が出されたのち、長年話を重ねてこられました。なかなか進展していかなかった苦労を語られています。夜も12時近くになろうとしていた平成2年のある会議で、当時の校長先生がこのようにおっしゃっています。

「校舎が雨漏りなどで腐食が進み、危険で教育活動に支障をきたしています。650名の児童に代わって申し上げます。校舎の建築には2年がかかります。今の校舎は2年はもちません。今日のこの場で校舎の建設を決定してください。」

それからほどなくして、今の御館山小学校の校地整地が始まり、平成4年9月5日に新校舎移転開校式が盛大に挙行されたと記録されていました。

私は、本校が計画から5年もの月日をかけ完成に至ったことや、多くの関係者の方々の思いが詰まった校舎であること、また、当時の校長先生が渾身の力で決断をお願いされたことを改めて知り、身の引き締まる思いになりました。この当時の校長先生は、実は、私の小学校6年生の時の担任の先生で、大変お世話になった先生です。何か不思議な縁を感じます。

いよいよ、1学期も終わりを迎えます。教員にとって、子どもたちの笑顔が何よりの原動力です。今後も、子どもたちの健やかな成長のため、教職員一丸となって取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞ温かく見守っていただきますようよろしくお願いいたします。長期休業中、子どもたちは地域にかえっていきます。けがや事故なく、充実した休みになることを切に願っております。2学期には、また、ひとまわり成長した子どもたちに会えることを楽しみにしております。

令和8年8月10日（月）～令和8年8月16日（日）は、学校に職員は勤務していません。ご理解願います。